

第2回
 自然公園のあり方懇談会のテーマ
 「山岳地域における歩道のあり方」

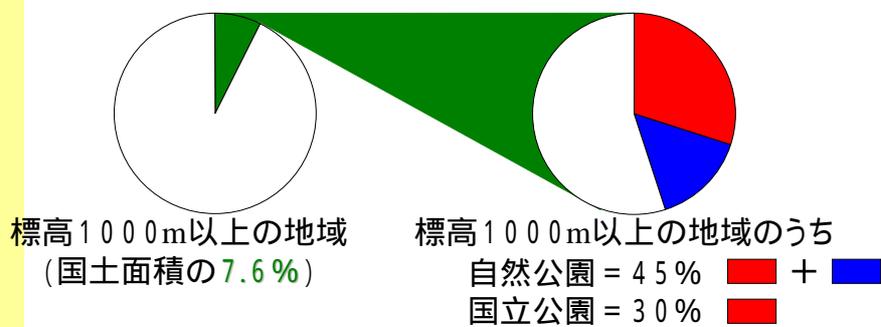
第2回自然公園のあり方懇談会のテーマについて

高山・亜高山帯に代表される
 脆弱な自然環境を有するエリア

2002年 国際山岳年

目的：山岳地域の環境保全・持続的な開発

山岳地域の健全な発展



山岳地域をとりまく歴史

1930～1950
第一次登山ブーム

・冬季五輪
夏山登山

・大規模開発
・森林伐採

1960代
第二次登山ブーム

・レジャーブーム
・日本百名山

・観光道路
・ロープウェー
の建設

1980代～
第三次登山ブーム

・中高年登山者
・自然とのふれあい

・利用集中
登山道荒廃
し尿処理

山岳地域の歩道

歩く = 自然公園における基本的な利用形態
(歩道整備の重要性)

山岳地域における歩道の整備
脆弱な自然環境・多様なニーズ
過剰整備、過剰利用の指摘

山岳地域の歩道のあり方について検討の必要あり